

2018 年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	檀国大学校		
留学先での所属	国際語学院		
派遣期間	2018 年 3 月～2018 年 12 月		
滞在先	学生寮		
本学での所属	現代社会学科	派遣時学年	3 年

総 括

一年間の韓国留学生生活を振り返ってみて、達成した事や得た事は想像を越えるほど多かったが、その中でも大きく 2 つ挙げられる。

一つ目は語学力の向上だ。留学に行く前は韓国語が全く話せず、自身の韓国語のレベルも非常に低い上でのスタートだった。一番初めの語学堂のレベルも 2 段下のクラスで、基礎レベルから始めた。語学堂に毎日通いながら、語学の勉強を進めていく上で、秋学期から高級クラスで学びたいと考えるようになり、夏休みの 3 週間の期間を利用してより熱心に勉強し、レベルテストを受けた結果合格し、飛び級させていただく事になった。高級クラスに入ると、皆がある程度韓国語を不自由なく話す事ができるため、意図疎通を図る事もでき、外国人の友達も増えた。

二つ目は異文化理解だ。これは外国人の友人と多く関わる事を通じて経験できた事の一つだ。語学堂では中国、ベトナム、インドネシア、台湾、フランスなど他にも様々な国から韓国語を学びに来ている外国人留学生とたくさんの交流があった。また、日本語を教えるプログラムを通じて、檀国大学校の韓国人学生とも交流する機会が多くあった。韓国人と韓国語で話すといった経験が語学を勉強する中で一番良いアウトプットの機会になったと感じる。母国語、皮膚の色、生まれ育った環境や文化は違っても、とても親しくしてくれた。日本にいる時では経験できなかった事であるため、とても刺激的だった。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

昔から韓国のコンテンツ等を通じて韓国文化、及び韓国語に興味があり、大学生の内に韓国留学へ行く事に憧れを抱いていた。行く前は希望ややる気を感じていたと同時に、果たして生まれ育った日本を離れ、上手く外国でやっていけるのだろうか、10 カ月間という長期滞在に、少しの不安も正直感じていた。しかし、韓国留学を終えた今、本当に留学に行っても良かったと心から言える。語学力の向上はもちろん、自分の想像を越える素敵な思い出を沢山持ち帰る事が出来た事を一番に誇りに思う。もし、留学に興味はあるが、一歩踏み出す勇気が出ない人がいたら、思い切って故郷を離れ、外の世界に飛び込んでみるように背中を押してあげたい。きっと人生において振り返っても良い経験になると思う。

2018 年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	檀国大学校		
留学先での所属	国際語学院		
派遣期間	2018 年 3 月～2018 年 12 月		
滞在先	学生寮		
本学での所属	美学美術史学科	派遣時学年	4 年

総括

10 か月間という限られた時間のなかでどの位自分の韓国語能力が上がるのか、また 7 月の TOPIK の試験で 3 級という結果を見てその先を不安に感じたこともあったが、結果 5 級を取得することもでき、韓国に行った当初よりも聞き取り能力も格段に上がっていることを実感できるようになり、現地で毎日韓国語に触れながら生活してきた甲斐があったと感じた。

韓国語は日本語と似ている漢字から来た言葉も多いので、勉強していて言葉の類似点を見つける発見があり、学びながら確実に成長を実感できる言語であるため、更なるやる気につながった。

語学以外の部分でも得たものは多かった。隣の国であるのに文化も違えば、人々の性格や雰囲気も違う。韓国人は気さくで日本人とは違う優しさがあった。友達の友達でも一度会えばそこからはみんなが友達、といったように仲間の輪を大切にする。そのような韓国人の繋がりの強さを生活することで感じることができ、自分にとって新しいことを体験することができた。